

南の風

—第4号—



神奈川フィルアウトリーチコンサート



6月25日に神奈川フィルアウトリーチコンサートが体育館にて行われました。今年度はトランペット2名、ホルン1名、トロンボーン1名、チューバ1名による金管五重奏で演奏をしていただきました。明るく軽やかな音や包み込まれるような優しい音、演奏を支える低くて深い音など、それぞれの楽器の音が重なり合って美しいハーモニーとなり会場全体に広がって、体育館が一瞬にしてコンサートホールのような雰囲気へと変わったように感じられました。

プログラムは「となりのトトロメドレー」や「ディズニーメドレー」など、子どもたちがどこかで聴いたことのある曲目で構成されていたため、あちこちでキラキラと光り輝く笑顔がたくさん見られました。また、自然と演奏に合わせて歌を口ずさむ様子や、真剣なまなざしで演奏者の方を見つめる様子もあり、それぞれの楽しみ方で演奏会を満喫しているようでした。

短い時間ではありましたが、子どもたちが病院の中ではなかなか経験することのできないプロの演奏を間近で聴いて、充実した時間を過ごしました。



学習指導要領と情報教育

横浜南養護学校では、平成28年度から平成30年度にかけて、文部科学省の委託事業である「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」の実施校として、教室や病棟、本校と藤が丘学級、芹が谷学級などをつないだ授業に取り組んできました。6月25日に文部科学省が「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策（最終まとめ）」を発表しましたが、その中の一番目に「遠隔・オンライン教育」が挙げられていて、病気療養中の児童・生徒に対する遠隔教育についても記載されています。では、新しい学習指導要領では情報教育がどのように変わのでしょうか。まず、小学校（中学校）学習指導要領の総則では、「各学校においては、児童（生徒）の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、…（略）」と明記されました。今回の学習指導要領では、情報活用能力は言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」として示されました。また小学校学習指導要領総則には、「児童がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動」や「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」を実施することが明記されました。

プログラミング教育は、小学校段階から系統的に行われている国もありましたが、日本では小学校の学習指導要領に「プログラミング」が盛り込まれたのは初めてのことで、プログラミング教育は必修となりました。「プログラミング」という教科があるのではなく、教科（算数や理科など）や総合的な学習の時間で行うものなど、A～Dの4つに分類されています。小学校段階におけるプログラミング教育は、「プログラミング的思考」などを育むことであり、コーディングなどを覚えることが目的ではないとされています。本校では、今年度よりプログラミング教材ロボット「P r o r o」を用いたプログラミング学習を実施します。

パソコンなどの機器だけを使ったプログラミング学習ではなく、課題を解決していくために、実際にロボットを操りながら、試行錯誤を重ねていくような授業を考えています。また、「ロボットプログラミング選手権2019（病弱教育部門）」が本校を会場として全国大会が開催されます。本校の児童・生徒も地区大会から参加する予定です。（副校長 星野）



9月の予定

- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------|--------------|-------------|
| 2日（月） 始業式（10：00 講堂） | 午前日課 | 9日（月）～13日（金） | 重心個別面談 |
| 18日（水） 重心集会（10：00～11：10 講堂） | | 25日（水） | 小1遠足（東芝科学館） |
| 27日（金） | 授業参観、授業評価 | | |
| 30日（月）、10月1日（火） | 重心小学部修学旅行（八景島シーパラダイス） | | |

横浜南養護学校 ホームページ↓↓↓

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-minami-sh/>（※平成31年4月よりアドレスが変更になりました。）